

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和 8年 1月 31日

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉 修一 殿

学校名	筑後市立筑後小学校
報告者	校長 吉田 俊博 (連絡先 TEL : 0942-53-2673)
寄贈品	防水デジタルカメラ
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	<p>体育のマット運動の授業では児童の前転開始の姿勢を確認するために、教職員が児童を撮影して授業の振り返りに活用していた。</p> <p>5年生理科では、飼育しているめだかの卵の観察をする際、実際に水槽にカメラを入れて撮影する姿が見られた。</p> <p>また、6年生が企画運営を行う縦割活動でもカメラを活用し、他学年に掃除の仕方を教える6年生の姿を撮影し、活動の振り返りをしたり、5年生へ引き継ぐ際の参考資料として活用した。</p> <p>使用頻度としては、授業・校外活動で10回、縦割活動・行事で11回、合計21回程度の活用があり、当初の見込みを大きく上回る使用頻度となった。</p>
申請当初の 目的達成状況	学校のカメラを児童自身が使うことに初めは戸惑いを感じていたようだったが、児童の目線で切り取った映像をもとに自身の活動の振り返りがより深くできるようになり目的を達成できたと感じる。
教育的効果について 所見等	<p>○児童自身がカメラを活用し学習に必要な画像を撮影したことで学習に対する意欲の高まりが見られた。</p> <p>○撮影した映像をもとにした交流活動を仕組んだことで、学習内容についての理解が高まった。</p>

活用状況の写真等（当日の様子など）



縦割り班で低学年の児童に掃除（ぞうきんの絞り方）を教える高学年児童

この後縦割り活動の反省で「低学年へわかりやすい説明ができたか」など写真を見ながら振り返りを行っていた。

今後の活用見通し・課題

主に高学年の児童や教職員が中心となりカメラを取り扱ってきた。今後は低学年での活用を広げていきたい。